

令和元年度南予地方局予算の実施状況 (R2. 2. 29 現在)

- 1 予算事項名 南予津波災害等自助・共助推進費
- 2 事業期間 平成30年度～令和元年度
- 3 所 管 総務企画部総務県民課
- 4 事業概要

大規模災害発生時に公的な救助や支援が届くまでの間、ライフライン等が途絶する中で、住民自らが津波や土砂災害からの避難により助かった命を守っていくため、地域住民や自主防災組織が中心となって、地域特性に応じた「自助」「共助」による連携モデルを構築し、普及させることで、地域防災力の向上を図る。

	平成30年度	令和元年度
予算額	619千円	617千円

5 令和元年度の事業実施状況

(1) 実施地区

平成30年度	○ 宇和島市 下灘(しもなだ)地区	地震による津波により孤立が懸念される地区
	○ 愛南町 由良(ゆら)半島地区	
令和元年度	○ 大洲市 八多喜(はたき)地区	土砂災害により孤立が懸念される地区
	○ 西予市 遊子川(ゆすかわ)地区	

(2) 実施概要

【各地区ワークショップの実施】

- 事前ワークショップ：地域住民や自主防災組織、消防団員等を対象に、大規模災害発生時に地域がどのような状況に陥るおそれがあり、どのような対策が必要となるかを検討した。
- ワークショップ：事前ワークショップで検討した、地域で対策が必要と思われる事項に対し、地域住民や自主防災組織等が自ら必要な対策を取りまとめた。
- 検証ワークショップ：ワークショップで検討した対策について、要する期間や費用面の検討を行い、各地区における実施手順を時系列で整理し、今後の進め方について再検討した。

地 区	開 催 期 間	参 加 者	実施状況
宇和島市 下灘地区	平成30年6月10日(日) 6月24日(日) 8月19日(日)	地域住民、下灘小学校児童・教諭など 延べ178名	
愛南町 由良半島地区	平成30年6月4日(月) 6月25日(月) 8月5日(日)	地域住民、家串小学校児童・教諭など 延べ178名	
大洲市 八多喜地区	令和元年6月24日(月) 7月15日(月・祝) 8月31日(土)	地域住民、粟津小学校児童・教諭など 延べ267名	
西予市 遊子川地区	令和元年6月6日(木) 7月11日(金) 8月23日(金) 9月27日(金)	地域住民 延べ183名	

コーディネーター：(一財)消防防災科学センター 防災図上訓練指導員 毛利泰明氏

【南予地域自助・共助推進活動成果報告会の開催】

○成果報告：南予地域の住民、防災士、自主防災組織構成員、市町職員等を対象に、ワークショップ事業を実施した4つのモデル地区から、各地区で検討した自助・共助による孤立対策について成果報告を行った。

○特別講演：演題「後悔しない防災・減災と危機管理」（千葉科学大学 教授 藤本一雄 氏）

日 時	令和2年1月26日(日)13:00~16:00
場 所	愛媛県歴史文化博物館 多目的ホール（参加者数：約180名）
実施状況	

コーディネーター：千葉科学大学 危機管理学部 教授 藤本一雄 氏
 （一財）消防防災科学センター 防災図上訓練指導員 毛利泰明 氏